

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はじめのいっば				公表日	2026年 4月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11		細かいグループでの療育のため、規定より多く、職員を配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		壁面で季節を感じられるようにしている。刺激にならないように意図的にシンプルですっきりした部屋にしています。また、その日のうちに教材・室内等消毒は徹底しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		個別の部屋はないが、活動内容に合わせて、その都度パーティションで仕切ることができます。集団活動等は園庭も利用しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		定期的にミーティング・職員会議にて実施しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		療育についての意見は言いやすく、いつでも話題に上がり、常に話し合うことができ、毎日のミーティングで再確認・共有しています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	9				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		計画に基づいた職員会議があるため、全職員で共有し、全職員の意見も大切にしています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	4				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		児発管を中心に毎日グループ分けをし、小グループ・集団等担当職員がその目的にあった教材を用意する等、職員全員で行っています。	活動内容にあった教材の選定・なければ職員が製作する等常に行っているが、間に合わないこともあります。また、活動内容も児童の状態に（療育効果）により常に話し合いが必要で日々話し合い、内容等検討していますが、さらに内部研修等行い力量アップにつなげたいと考えています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		療育の基本は毎日の細かい日課をこなすこと。日課は固定。活動は手先集中視訓練・集団活動・軽運動・リトミック・製作等毎日変えています。ただ、一つのことを毎日繰り返すことも必要かと考えています。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		ミーティングには時間をかけて行き、活動内容・担当・どのようにもって行くか問う職員全員で確認しています。	小さなことでも忘れてしまわないよう、個人日誌や業務日誌を活用し、記録を残していればさらによいと考えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		翌日のミーティングにて昨日の療育内容・児童の様子・改善点・今後の取り組み等話し合い、意見交換しており、また、何時でも気づいたことはすぐに職員間で共有できるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		記録は必ず毎日つけています。記録に書かれたことは職員間で話し合っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	11			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		自己選択できる児童は少ないが、一番身近なおやつはどんな方法（言葉・指さし等）でも自分で選ぶを基本としています。	個々の声掛け・伝える・サポートの内容はその都度特性に合った支援ができるよう、更に方法を構築していきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	相談支援事業所を介して、情報収集に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		学校との連絡体制はしっかりとれているので、今後も引き続き手抜きなく続けていきたいと思っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	10		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	9		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		当事業所はいつでも保護者・学校関係者等の療育参加・見学を行っています。アポイントはいらないのでいつでもの機会がいいので、ぜひ見ていただきたいです。そのうえで、意見や要望をいただき、わからないこと等にはアドバイスや情報提供をできる範囲でさせていただきます。	家族等の参加できる研修や、家族とともに考える会等、今後検討していきたいと思っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	6		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11		年4回、お便りを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	9		地域の状況や障害の程度等鑑みると難しい状況ではありますが、今後検討していかなくてはとがなが得ています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	定期的に行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11		てんかん児童の発作の状況等は職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11			